

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R5年1月31日

事業所名：ゆいまーる さいじょう

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらか いいない	いい	工夫した点、改善点	はい	どちらか いいない	いい	わからない	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7	0	0	死角のないよう職員の配置を随時変更している	34	3	0	7	児童の人数に応じてレイアウトを変え、スペースを有効に活用していきます
	2 職員の適切な配置	6	1	0	対応できている	32	4	0	8	必要時に応じて個別対応や支援が行えるよう職員の配置を考えていきます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	0	0	全体のスケジュール表の提示、個別のスケジュールの提示している	32	2	1	4	スケジュールの変更時（時間配分、内容）には個別に提示したり、提示方法を配慮していきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	0	0	毎日の掃除に加え毎月の施設全体のスケジュールを組み掃除、消毒している	35	2	0	7	毎日の掃除にて気持ちのよい空間を継続して清潔を保ちます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	5	2	0	施設内研修やミーティングノートを活用している					ミーティング、各種研修や会議にて意見交換の時間を作り改善に繋げていきます
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	3	0	実地指導にて行う					外部評価時には指導のあった点は修正、改善していきます
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7	0	0	社内研修を行っている					定期的に（月2回以上）内容の工夫、修正、改善に努めていきます
適切な 支援の 提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0	日頃より様子を伺い職員間で共有し計画作成を行う	40	3	0	1	モニタリングにて本人、保護者のニーズを踏まえた内容に近づけていきます
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	0	0	ミーティングや支援会議で案を出し合って記載する	39	4	0	3	一緒に活動しながら見通しが持てるよう検討し、無理のないよう策定していきます
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1	0	個々の特性に配慮し集団、個別ともに取り入れた計画作成を行う					本人のニーズを引き出せる内容の活動提供も目指し楽しみを含む計画をしています
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6	1	0	定期的にモニタリングを行いミーティングで確認し、変更を行う	40	1	0	3	支援方法の確認や共通認識ができるよう職員間で定期的に話し合いを行います
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	6	1	0	立案～実施まで担当、担当を決めて行っています					わかりやすく、安心して取り組める活動になるよう事前の演習、修正、手順書の作成を行っています
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	0	0	毎日のミーティングで特性に応じた内容であったか確認変更を行う	35	5	1	3	新しい内容を職員で考え、マンネリ化になっていないか？振り返る時間を作っていきます
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	1	0	イベント会議にて支援内容の確認を行う					児童の様子や状態の判断を丁寧な配慮で活動プログラムを決定していきます
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7	0	0	開始前にミーティングで役割分担の再確認を行う					スケジュールに沿った活動ができるよう事前にミーティングで職員の動きを共有し、状況に応じた臨機応変な対応ができるよう努めます
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	7	0	0	ミーティングノートに記録している					一日の終わりに必ずミーティングを行い、報告連絡事項を共有し不安解消していきます
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	7	0	0	記録を残してほしい場合をミーティングで共有し確認している					児童の発言、状態、態度等、記録できるよう見守りを行いそで支援します
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	1	0	定期的にモニタリングを行いミーティングで確認し、計画書に各々がサインしている					活動時の様子、成長、発達段階、特性をふまえ、目標や支援内容の見直し、継続支援等決定していきます
関係機 関との 連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサーブ担当者会議への参画	7	0	0	児発管と担当者が参加している					該当児童と関わりがあり特性や相性を踏まえた担当配置を行っています。今後も成長や発達の様子を見ながら最も精通した職員が行うようにします
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	0	7	現在、該当する児童は通所していません					該当する利用者さんがおられた場合は、保護者様、関係機関と連携をとり対応いたします
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	0	7	現在、該当する児童は通所していません					該当する利用者さんがおられた場合は、保護者様、関係機関と連携をとり対応いたします

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	4	6	1	0	相談員が中心となり関係機関との情報共有している						必要に応じて情報交換、会議、相談等行っていきます
	5	6	0	1	必要時に応じ、相談員を通して情報共有する						必要時には情報提供、移行を行います
	6	5	2	0	開催時には参加する						研修情報は職員に伝えていきます。ケース会議等で直接お伺いしたりしてきます。今後も積極的に連携してきます
	7	2	3	2	日時設定した交流は自粛している	13	7	9	15		他事業所との交流も実行できるよう状況をみながら、地域のイベントにも参加してきます
	8	0	4	3	感染対策継続中にて難しい状況である						子ども食堂等利用させて頂き、地域で買物体験等、継続してきます
保護者への説明責任・連携支援	1	7	0	0	見学、契約時または必要に応じて説明している	38	6	0	0		個別に対応し、必要時には書面等で随時対応します
	2	7	0	0	ケース会議、送迎時、電話対応にて補足している	36	5	3	0		定期的計画評価や新規の作成時等、直接お伝えできる体制を整えていきます
	3	0	1	6	個別相談の場合、対応できるよう寄り添う努力を行う	21	8	8	7		実施できるよう取り組んでいきます
	4	7	0	0	連絡帳や送迎時にお話を伺っている	36	7	1	0		少しの変化もお伝えしていけるよう取り組みます
	5	6	1	0	相談があった時には対応している	25	11	7	1		保護者様の不安が解消されるよう適切な助言ができるよう努めます
	6	0	2	5	感染対策継続中にて今後の課題のままである	10	4	15	15		時期を見て実行できるよう努めます
	7	7	0	0	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	29	3	1	11		当日に対応できるよう努力しています。適切な対応ができる体制に努めます
	8	7	0	0	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	33	7	1	3		本人がわかりやすい(望んだ)アイテムでコミュニケーションを行っています。いろいろな方法を学び取得してきます
	9	5	2	0	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	34	5	0	5		本人の隠れたニーズを引き出せるよう日々の様子観察等変化に気付く視点を増やしていきます
	10	7	0	0	個人情報の取扱いに対する十分な対応	39	3	0	2		月2回以上、施設内研修を継続してきます
非常時等の対応	1	6	1	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	31	7	0	6		見える場所に提示しています。SNS活用もしていきます
	2	7	0	0	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	24	6	0	14		防災センターでの学習や消防署等の研修に参加してきます
	3	7	0	0	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応						外部研修へ(オンライン研修等)に引き続き参加してきます
	4	6	1	0	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等サービス計画への記載						現時点で身体拘束は禁止しています。社内研修(委員会)等勉強会を行っています
	5	6	1	0	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応						変化がみられたり、日常生活内での変更がある場合も職員の共通認識をしていきます
	6	7	0	0	ヒヤリット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底						安心して支援ができるようヒヤリットを作成しています。振り返ることで再発防止に努めていきます